

## 平成 18 年度当初予算 施策別概要

<b>234 技術の高度化の促進</b>	23401 新分野への展開をはかる研究開発の推進 (総合企画局)
----------------------	-------------------------------------

(主担当部局：総合企画局)

- |                           |         |
|---------------------------|---------|
| 23401 新分野への展開をはかる研究開発の推進  | (総合企画局) |
| 23402 地域産業の高度化のための技術開発の推進 | (総合企画局) |
| 23403 技術人材の育成・確保          | (総合企画局) |
| 23404 公設試験研究機関の充実         | (総合企画局) |

### < 施策の目的 >

(対象) 企業等と公設試験研究機関が

(意図) 地域の産業を牽引する新技術の開発や基盤的技術の高度化を進めている

### < 施策の数値目標 >

目 標 項 目		H 1 5 年度	H 1 6 年度	H 1 7 年度	H 1 8 年度
共同研究による特許 等出願件数(件)	目標値	-	44	54	56(48)
	実績値	41	52	59	-

県内の企業・大学等と公設試験研究機関が、共同で発明した特許、実用新案、意匠の出願件数(累計)

なお、H16年度の実績が目標を大幅に上回ることができたため、H18年度の目標値を見直しています。

### < 平成18年度に残っている課題 >

本県中小企業の競争力を維持・発展させるため、燃料電池など先端的な新産業分野や市場ニーズの拡がりに対応する環境・健康福祉機器などの分野への取組のための技術開発が求められています。

本県の地域産業が国内外の競争に打ち勝つためには、更なる高付加価値化を推進する技術開発、潜在能力のある伝統産業を基盤に先端技術と融合した新たな技術展開や循環型社会の実現に貢献する技術開発等が課題となっています。

新分野への展開、地域産業の高度化のため、産業や企業ニーズに応じた技術支援、技術人材の育成が望まれています。

県内産業に貢献できる研究成果を生み出すため、急速な技術の進歩に対応して公設試験研究機関の整備を進めていくことも重要です。

### < 平成18年度の施策の取組方向 >

企業の新分野への進出を支援するため、次代を担う燃料電池の研究開発をさらに進めるとともに、市場ニーズの拡がりに対応するため、本県の持つ地域天然資源を有効に活用するための研究開発に取り組みます。

地域産業の高度化を支えるため、付加価値のある商品の開発や品質向上を目指した技術開

発や技術支援に取り組みます。

企業ニーズに対応した実践的な技術支援や技術人材の育成・確保のため、研修会の開催や技術者の受入、技術相談などを行います。

畜産研究部の大家畜舎（乳牛・肉牛を飼養）を完成させるとともに、他の畜舎についても計画的に整備を進めます。

<主な事業>

（新）燃料電池技術の普及を促進する要素開発事業費【基本事業名：23401 新分野への展開を図る研究開発の推進】

当初予算額： - 千円 5,447千円

事業概要：固体高分子形燃料電池（PEFC）の構成部材である熱可塑性樹脂セパレータの薄肉化および高温耐久性の向上と固体酸化物形燃料電池（SOFC）のセラミックス製セルの低コスト製造技術の確立を目指します。

（新）地域天然資源の有効成分活用研究事業費【基本事業名：23401 新分野への展開を図る研究開発の推進】

当初予算額： - 千円 5,500千円

事業概要：海藻やカンキツ等の地域天然資源の有効成分について分析と安全性の評価を行いデータベースを構築し、医薬品や機能性食品等への素材化技術を開発し、地域ブランドとなる新商品の開発を目指します。

（新）鋳物産業等の新製品開発事業費【基本事業名：23402 地域産業の高度化のための技術開発の推進】

当初予算額： - 千円 4,250千円

事業概要：北勢地域に立地する代表的地域産業である鋳物業界および建築金物業界の新製品開発を支援するため、転倒防止マンホール蓋、溝蓋（グレーチング）やデザインに優れた鋳物製品の開発を行います。

ものづくり技術者育成事業費【基本事業名：23403 技術人材の育成・確保】

当初予算額： 1,225千円 1,037千円

事業概要：本県の地場産業である鋳造業界、陶磁器業界の製品の高付加価値化、生産技術の高度化、商品デザイン企画開発を進めるための技術人材を育成します。

畜産研究部施設整備事業費【基本事業名：23404 公設試験研究機関の充実】

当初予算額： 643,334千円 1,110,694千円

事業概要：老朽化した畜産研究部の畜舎等施設を、研究業務の効率化を目指し整備するとともに、地域に親しまれ、愛される施設となるよう周辺環境に配慮した施設とします。平成18年度は、大家畜舎（肉牛、乳牛を飼養）の建築、養豚・養鶏関係の実施設等を行います。